



# 活動報告書 2019

地域教育開発センター「REDeC: Regional Education Development Center」とは、北陸学院大学が行っている学問分野（幼児児童教育、英語及び英語教育、心理学、社会学、食生活その他の学問分野）に関する研究の成果をもって地域社会に貢献することを目的とする組織です。

2019 年度参加人数

公開講座 183 名      REDeC セミナー 7 講座 127 名

## 連続公開講座 ～いのちの重さと輝き～

写真で伝える紛争地、被災地の「今」

2019年6月1日（土）

安田 菜津紀 氏

2019年度連続公開講座～いのちの重さと輝き～は、講師にフォトジャーナリスト安田菜津紀さんをお招きし、「写真で伝える紛争地、被災地の『今』」と題してご講演いただきました。

紛争や貧困に傷つけられ、それでも懸命に生きている子どもたちの写真一枚一枚が、そこにその人がいる(いた)ということ、一人ひとりの存在が唯一無二であることを見る者に気づかせます。同時にそれらの写真は、遠く離れた場所で起こる現実をしっかりと捉える必要があることを無言で語ってきます。優しく包み込むような口調と笑顔の合間に時折見せる強いまなざしに、参加者は引き込まれていました。

コーディネーター：田中 純一（社会学科）



## 冬の連続公開講座 ～この地に生きる⑩～

### 西洋の合唱音楽とキリスト教とのつながり ～基礎発声と、合唱曲に隠されたメッセージを読み解く～

2019年11月16日(土)

犀川 裕紀 氏

私たちがいつも生活の中でごく当たり前に触れている西洋の合唱曲を、改めてキリスト教との繋がりから学ぶセミナーでした。キリスト教における音楽の位置づけに始まり、初期キリスト教から現在に至る各時代の合唱音楽の変遷を学びました。各時代の美術作品を見ながら実際の楽曲の一部を視聴することにより、各時代の特徴と変化、さらには今まで意識しなかったキリスト教的メッセージを視覚・聴覚の両面から感じられる内容でした。

最後に犀川裕紀先生の指導の下、モーツァルト最晩年の教会音楽ともいえる名曲 Ave verum corpusを参加者全員で合唱しました。番匠鐵雄記念礼拝堂に響くその歌声は、本セミナーの内容の豊かさを表すものでした。



コーディネーター：富岡 和久（コミュニティ文化学科）

## 対話的な学び

### 第1回 乳幼児と自然との対話 2019年6月22日(土)

話題提供：谷昌代（子ども教育学科）  
協力：金沢泉丘こども園  
コーディネーター：大井佳子（子ども教育学科）

子ども教育学科では“対話的な学び”をテーマに各学齢期に合わせた講座を設定しました。

第1回「乳幼児と自然との対話」は、参加者51名で、保育教諭15名、保護者4名、自営業2名、高校生・会社員・公務員・教員・その他1名ずつお集りいただき、本学の「乳児保育」を受講する学生25名も参加し、地域の方々と一緒にビデオ・トークを行いました。

1歳児が公園の木から垂れ下がった枝で遊ぶ場面や自然の斜面をハイハイで登る姿、歩き始めたばかりの子どもが斜面を下りる姿などのビデオ映像から、子どもたちはどんなふうに関心を感じ、何を学んでいるのか、乳幼児の自然との出会い方について様々な立場の方々で討議を展開しました。一つの場面を異なる立場や視点でとらえることで、新たな気づき生まれ、より深い子ども理解につながり、私たちにとっても“対話的な学び”の時となりました。



### 第2回 小学校算数科授業における対話的な学びについて 2019年7月6日(土)

講師：姫野俊幸（子ども教育学科）

申込者が少なかったため、中止となりました。

### 第3回 コミュニケーション重視の英語教育における対話的な学び 2019年7月27日(土)

講師：宮浦国江（子ども教育学科）

申込者が少なかったため、中止となりました。

## 社会を読み解く

### 第1回 障害者福祉基礎講座 ～よき理解者・支援者となるために～

講師：田引俊和（社会学科）

2019年6月29日（土）

最少催行人数に達しなかったため、中止となりました。

### 第2回 外国人労働者の受け入れと日本の地域社会

講師：俵希實（社会学科）

2019年8月10日（土）

2019年4月、日本政府は人手不足解消のため、これまで認めてこなかった外国人の単純労働に門戸を開きました。今後5年間で最大約34.5万人の外国人労働者の受け入れが見込まれています。そこで、日本の地域社会で文化的背景の異なる人々とのどのように暮らしてゆけばよいのかを、日本人の外国人に対する意識と態度についての調査結果を踏まえて考えました。「住んでいる自治体の調査もふまえての講義は興味深かった」「現代日本で重要視されているテーマで親しみやすくて楽しかった」というご感想をいただきました。



### 第3回 図書館と知的自由 —図書館は何のために存在する？—

講師：若杉亮平（社会学科）

2019年10月19日（土）

当日は一般の方、7名に参加して頂き講座を実施することができた。講座の内容は日本における図書館の種別、そして日本の図書館の歴史から現代の公立図書館の役割を概観した。さらに図書館が最も重要な任務と考えているのは民主主義を支えることであり、そのために自由に資料や情報を提供する必要があると解説がなされた。特に表現の自由や言論の自由に重要性を、実際の例も交えながら紹介し、講座の参加者も時折頷きながら真剣に聞いていただくことができた。



## 地域を知る

### 第1回 白山手取川ジオパークで持続可能な地域を考える！ ～大地と人とのかかわりとは？～

2019年6月29日（土）

講師：日比野剛（白山手取川ジオパーク推進協議会  
白山市観光文化部ジオパーク・エコパーク推進室 専門員（地質））  
コーディネーター：葦名理恵（コミュニティ文化学科）

当日は一般の方、本学学生を合わせて17名の参加者があり、JOINT SPACE みっしょん工房での開催となりました。

石川県にあり、日本3名山の一つでもある白山とそこから流れる手取川を含む「白山手取川ジオパーク」について白山手取川ジオパーク推進協議会の日比野剛様に講演していただきました。日比野様のお話はジオ愛にあふれ、とても楽しく、そして深く、ジオパーク、エコパークの意義から、白山の成り立ちや地質の特徴など、身近にありながら知らなかった白山と手取川の魅力を学ぶ貴重な時間となりました。



### 第2回 地域学術資料の新しい活用をめざして

2019年7月13日（土）

講師：堀井洋（合同会社 AMANE 代表社員）  
コーディネーター：沢田史子（コミュニティ文化学科）

学術資料の保存・継承・研究・活用などに幅広く取り組んでいる合同会社 AMANEの代表である堀井洋氏にお越しいただきました。古文書や民具などの地域の学術資料を活用した、新しいプロダクト・コンテンツの創出を目指す試みについてお話しいただきました。参加者からは、「資料の活用という視点が興味深い」、「グッズになっていて意外と身近なものだと思った」、「資料のオープン化がさらに進むことが必要だと感じた」などの意見がありました。学術資料の活用について、参加者がそれぞれの立場で考える有意義な時間になったと思います。



## 食と暮らしを考える

### 第1回 親子で楽しむおやつづくり ～子どもの身体と心をはぐくむおやつとは～

講師：食物栄養学科教職員（管理栄養士）  
コーディネーター：三田陽子・俵万里子（食物栄養学科）

2019年8月10日（土）

毎回早々に定員に達する人気の講座です。当日は、野菜たっぷりチヂミ、大豆とじゃこのおやき、フルーツポンポンを親子一緒にゆっくり作っていただきました。栄養面だけでなく、すりつぶす、丸める、すくうなど子どもたちが様々な調理動作を体験できるように配慮しました。参加者の方々より「楽しい時間だった」「とても楽しめた」との感想をいただき、タイトル通り親子で楽しんでいただける講座となったと思います。



### 第2回 必ず役立つ介護食

2019年9月28日（土）

講師：塩谷さち子（石川県栄養士会会員）  
コーディネーター：三田陽子・俵万里子（食物栄養学科）

石川県栄養士会から講師を招き、食事の認知から飲み込むまでの仕組みや、普通の料理を食べやすい形態＝介護食に変える工夫や方法を学び、お粥ゼリーや肉豆腐などを実習しました。参加者は学生から介護経験者まで幅広く、感想には「家族がパンを食べる時など固めていたりした理由が最初の話で分かった」「工夫することで家族が同じ料理を食べられることを知った」「ミキサーは大変」「たくさん知識を得た」などがあり、人生100年時代に「終いまで美味しく食べる」ことを考え始めるきっかけの講座ともなったと思います。



## 出張講座

本学教員が各自の専門性を活かし、会場に出向いて一般の方向けに行っている出張講座は、2019年度は26団体からのお申し込みを受け、29回実施しました。

## キャリアアップ講座

### 管理栄養士国家試験受験対策講座

今年度15回目となる管理栄養士国家試験受験対策講座は、入門編、応用編の2回に分けて開催されました。入門編は9月から昼夜の2部の開講ですが、12名が受講しました。また、応用編にも11名の申込があり、12月から1月で開講することが出来ました。入門編では台風などのため、変更もありましたが、予定された日程を終えることができ、受講者はそれぞれ熱心に取り組みました。今年の国家試験でも受講者の希望が叶えられるよう、健闘を祈っています。

## 幼児・児童教育支援事業

### あそび場 JOJO

毎月1回開催のJOJOですが、2019年度は、10月が台風の接近で中止、2月のピア・サポートの会(主催:金沢エルデの会・アスペの会石川)が「就労」という高学年向きテーマ設定によって託児をしなかったこと、3月は新型コロナウイルスによって中止を余儀なくされて、4月～1月の9回の開催となりました。幼児期から毎回ではなくとも継続的に参加してきた小学生メンバーが、「遊びでつながる」という子ども本来の友達関係を見せてくれています。それに伴い、「親たちの部屋」でのピアサポートとしての語らいも深みを増しているようです。



### クリエイショングループ

クリエイショングループは主に行政や地域の子育て支援団体の依頼を受けて、イベントのブースのお手伝いやステージパフォーマンスを提供しています。また、学科の枠を越えて誰でも参加することが出来る、横断的な取り組みをしています。他学科の特性を知り、刺激し合い理解し合うことも大切であると思っています。ステージパフォーマンスの依頼においては、会場に集まった子どもたちに楽しんでもらえるようなプログラムを考えたり、それに合わせた大型教材を作ったりと準備が必要となりますが、そのプロセスが学生にとって大きな学びになってくれていると思います。



### 金沢市教育プラザ・子育て支援

教育プラザでは、一年を通して学生が「子育て広場」をフィールドに子育て支援を実践的に学ぶ機会を得ています。また、地域に向けて年1回、本学主催企画を実施しています。今年度は2月に、3歳から未就学児までの親子6組を対象に「3匹のくま」のスープを親子で作り、絵本の世界の中でおいしく食べました。毎回大好評です。これからも、長い歴史の中で培ってきた学問分野に関する成果を地域に向けて発信していきたいと考えています。

### MAGONOTE塾

障がいに関わる映像を園を超えて見ることが難しくなっておりMAGONOTE塾としては開催できませんでした。替わるものとして、出張講座で園内研修に出向かせていただき、ビデオ・トークスタイルで子どものこと、保育のことを園の先生方と共語りする機会をいただいています。

### 音楽のおくりもの

活動1年目の今年度は、チームどれみが、6月金沢めぐみ幼稚園「6月お誕生会コンサート」、7月教育プラザ富樫「子育てサロンコンサート」、10月北陸学院大学 栄光祭「チームどれみコンサート」、12月桜木幼稚園「クリスマスコンサート」、教育プラザ富樫「子育てサロンクリスマスコンサート」を開催いたしました。大型絵本を用いたミュージカル、歌、ダンスのコンサートに「感動しました」「また見たいです」との言葉が寄せられました。



## 北陸学院大学スイーツ研究所

JOINT SPACEみっしょん工房でのお昼カフェを新たに開始しました。加賀ブロッコリーの肉まんや棒茶のパンナコッタなど地元食材を活用したスイーツの販売を全4回実施。毎回完売と好評を得ることができました。さらに七尾市崎山地区の特産品を活用したレシピ開発に取り組みました。大学祭で崎山苺のワッフルを販売。産地の方々との交流を通して、地域の文化・食材をより深く理解し、開発に生かすことができました。



## ともいき塾

### よりそいの花プロジェクト

2019年度は平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた岡山県倉敷市真備町での写真洗浄ボランティア活動、さらに令和元年台風19号による千曲川が氾濫した長野県長野市で11月、12月に計3回泥出し、リンゴ農園復旧作業、住民交流空間づくりなどに取り組みました。

県内では七尾市崎山地区で春、夏に開催される地域のお祭りの運営補助、防災ワークショップの開催、栄光祭での特産品 PR販売、廃校となった小学校の利活用についての意見交換など1年を通して住民と連携した活動を繰り広げました。



## コラボレーション企画

大学で栽培・収穫したさつまいもを使った企画「おいもプロジェクト」を JOINT SPACE みっしょん工房にて開催しました。

スイーツ研究所が幼稚園の園児たちと一緒に蒸しパンを作り、蒸し上がるまでの間クリエイショングループと一緒に芋掘りの絵話を見聞きしてもらいました。

今後もコラボ企画を実施していきたいと考えています。



## 特別企画

### 写真洗浄技術研修

平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた岡山県に、6月「よりそいの花プロジェクト」が災害ボランティアとして訪れ、写真洗浄を手伝ったことをきっかけに、倉敷市真備町で写真洗浄に取り組む団体代表の福井圭一氏を講師を招き、水害によりダメージを受けた写真洗浄の修復技術を習得する研修を行いました。県内初の取り組みで、参加者は被災者の思い出が詰まった写真を一枚一枚きれいにしていきました。



## その他の地域貢献活動

### 令和元年度高齢消費者被害防止寸劇出前講座事業(石川県)

石川県の「令和元年度高齢消費者被害防止寸劇出前講座事業」に本学社会科学部の真砂ゼミ・松下ゼミが採択されました。

近年増加傾向にある高齢消費者の被害防止を目的に、学生が地域の老人会などで「寸劇」を披露しました。

#### 【学外公演】

- ・ 9月21日(土) 11:00~11:30  
金沢市立西南部小学校
- ・ 10月5日(土) 10:00~10:30  
七尾市北大呑地区コミュニティセンター
- ・ 10月14日(月) 10:00~10:30  
能美市泉台町公民館
- ・ 11月17日(日) 11:00~11:30  
小松市城北地区会館



#### 【学内公演】

- ・ 10月18日(金) 11:30~12:00 北陸学院大学
- ・ 10月19日(土) 12:15~12:45 北陸学院大学



2019年度北陸学院大学公開講座・REDeCセミナーへ多くのご参加をいただき、ありがとうございました。

2020年度もお待ちしております。



北陸学院大学  
学術情報研究・社会連携センター  
地域教育開発センター

〒920-1396  
石川県金沢市三小牛町イ11  
TEL: 076-280-3856  
Email: [redec@hokurikugakuin.ac.jp](mailto:redec@hokurikugakuin.ac.jp)